



加藤 かな子	日本古代史	① 経歴・職歴 平和資料館開設準備担当・博物館・文書館・さいたま文学館・歴史と民俗の博物館・平和資料館等を経て、現在歴史と民俗の博物館に勤務しています。
かとう かなこ		② 過去の実績 H7 特別展「古代東国の渡来文化」(県立博物館) H11 榎本家・八塩家文書の整理と「榎本家・八塩家・勝音寺文書目録」の編集(文書館) H15 企画展「万葉漫遊 さいたま万葉文学史」(さいたま文学館) H21 企画展「出張博物館 in 深谷」(歴史と民俗の博物館) H22 特別展「仏教伝来 埼玉の古代寺院」(歴史と民俗の博物館) H24 「古代武蔵の渡来人とその一族」(栃木県那須野が原博物館友の会講座) H25 戸谷家の整理と「戸谷家文書目録」の編集(文書館) H27 テーマ展「戦後70年 祈り-受け継ぐ思い-」(平和資料館) H28 「新羅琴が伝える古代朝鮮半島の興亡」(ミュージアムカレッジ2016「交流と変化-東アジアの海外交流-」) R3 「古代武蔵の渡来人～高句麗系士族を中心に～」(さいたま市立大宮図書館)などの展示や講座を行いました。
	古代の渡来人や朝鮮半島との交流について	③ 研究実績等 地元埼玉の渡来人にスポットをあてた「沙良真熊と新羅琴」(「武蔵野」第77-2 通巻334号 H13)などの論文、また「埼玉新聞社撮影報道写真フィルムの整理と公開」(共著 埼玉県立文書館紀要第28号 H26)、新型コロナウイルス禍の博物館-埼玉県立歴史と民俗の博物館の取り組み1-などを執筆しました。 ④ メッセージ 約10か月間の大規模改修工事終了後、当館では特別展をはじめとする様々なイベントを開催いたします。ぜひご来館ください。

<p>新井 浩文</p>	<p>日本中世史</p>	<p>① 経歴・職歴          県立博物館(現歴史と民俗の博物館)、教育局生涯学習文化財課、県立文書館古文書・史料編さん担当、県立歴史と民俗の博物館企画・学習支援担当、資料調査・活用担当を経て、現在、県立文書館主席学芸主幹。</p>
<p>あらい ひろぶみ</p>		<p>② 過去の業務実績          展示          H10「友山と武香-冑山根岸家文書の世界-」 H22「中世文書の世界-鎌倉・室町時代の文書-」          H23「渋沢栄一と埼玉の近代-創業期の日本煉瓦製造株式会社-」 H25「中世文書の世界Ⅱ-戦国時代の文書」          H26「中世文書の世界Ⅲ-館有文書あらかると-」 H29「関東管領上杉氏と埼玉の戦国武将」(歴史と民俗の博物館共催)          H29「鉢形城主北条氏邦」(歴史と民俗の博物館共催) H30「古文書 大公開!-みる・よむ・しらべる埼玉-」          R2「新収集品展2018・2019」          R3「文書館常設展示 未来へつたえる」</p>
	<p>戦国時代の領主支配と流通</p>	<p>講演          H23 歴史講座「忍城と戦国武蔵の終焉」(さきたま史跡の博物館) H25「埼玉県立文書館の鉢形関係文書」(鉢形城歴史館)          H26「北条氏邦の新出文書」(鉢形城歴史館) H28「戦国時代の糟壁・関宿・岩付」(春日部市郷土資料館)          H28「はじめての古文書読解」(鴻巣市民大学講座) H29「埼玉史協の取り組みと成果について」(鳥取県立公文書館)          H29 さいたま市民大学「戦国時代の岩付」(シーノ大宮)          H30 ミュージウムカレッジ2018「埼玉・古文書・あらかると」(歴史と民俗の博物館)          H30 歴史講座「関宿城と中世利根川水運」(嵐山史跡の博物館)          R1 企画展講演会「岩付太田氏とその家臣たち」(足立区立郷土博物館)          R1 特別展講演会「太田資正と関東の動乱」(横浜市歴史博物館)          R1 第30回保存フォーラム「地域史料の防災対策」(国立国会図書館)          R2「熊谷氏のその後-熊谷家系図の謎-」(熊谷市立図書館)          R2「戦国時代の忍城と成田氏」(さいたま文学館)          R3「戦国の忍びを考える-武蔵国での戦いをめぐって-」(嵐山史跡の博物館)          R3「はじめての古文書」(伊奈町立図書館)</p>

論文等

- H24 『関東の戦国期領主と流通』(岩田書院) H26 「成田氏による忍領形成と河川」(『埼玉地方史』70)  
H27 「長林院一太田氏資の室」(『北条氏康の子供たち』宮帯出版)  
H28 「地方文書館の役割と民間アーカイブズ」(『社会変容と民間アーカイブズ』勉誠出版)  
H28 「埼玉県立文書館所蔵史料を用いた授業モデル-高校生に向けた文書館利用の取り組み-」(『文書館紀要』30)  
H29 「地方史研究と地域史料調査会」(『地方史研究』392) H30 『さきたま文庫 慈恩寺(改訂版)』(さきたま出版会)  
H30 共著「古文書 大公開！-みる・よむ・しらべる埼玉-」展示報告(歴史と民俗の博物館『紀要』13)  
H30 共著「丹党岩田氏に関する新出史料」(『文書館紀要』32)  
R1 「織豊政権と太田三楽斎道誉父子」(『戦国・近世初期西と東の地域社会』岩田書院)  
R1 「【資料紹介】嶋田秀順・木下秀吉連署奉書について」(埼玉県立歴史と民俗の博物館『紀要』14)  
R2 「河川台帳に遺されていた幻の中世城郭を追う」(『日本の歴史を解きほぐす』(文学通信)  
R2 「利根川東遷再考-戦国期の河川普請から-」(『埼玉の文化財』61)  
R3 「史料保存利用問題と文書館の今日-平成～令和へアーキビスト元年に想う-」(『三郷市史研究 葦のみち』31)  
R3 『久喜市の歴史と文化財2 鷲宮神社』(久喜市教育委員会)

③ 研究業績等


戦国期の県内領主や河川流通に関する研究のほか、認証アーキビストとして文書館学(アーカイブズ学)に関する研究も続けていきたいと思っております。


④ メッセージ


戦国時代の研究のほか、史料に関する保存管理や県内各地域との史料保存ネットワークにも関心があります。


⑤ その他


趣味は、軽登山と酒蔵探訪。

<p>駒見 敬祐 こまみ けいすけ</p>	<p>日本中世史</p>	<p>プロフィール ①経歴・職歴 令和2年4月～ 埼玉県立文書館</p>
	<p>南北朝～室町時代の 関東政治史、鎌倉府について</p>	<p>②過去の業務実績 R2 企画展「編さんのお仕事～史料編さんの四半世紀」展示サブ担当(文書館) R3 企画展「古物を伝えるー好古家たちの埼玉ー」展示主担当(文書館) R4 企画展「板東武者の生きざま～埼玉の中世文書～」展示主担当(文書館) R4 嵐山×文書館 企画展記念講演会「武蔵武士の中世～鎌倉から室町へ～」講演 R4 文書館歴史講座「板東武者の生きざま～文書館収蔵資料からみる埼玉の中世」講師</p> <p>③主要著作・研究実績等 R2 「鎌倉公方の発給文書」「犬懸上杉氏の発給文書」(黒田基樹編『鎌倉府発給文書の研究』戎光祥出版) R2 「鎌倉府の権力構造と棟別銭」(『駿台史学』168号) R3 「宇都宮公綱」「伊達行朝」「結城宗広・親朝・親光」(『南北朝武将列伝 南朝編』戎光祥出版) R3 「十五世紀における安部氏の動向～安部文書の年代比定をめぐって～」(『文書館紀要』34) R3 「岩松直国」「上杉憲顕」「河越直重」(『南北朝武将列伝 北朝編』戎光祥出版) R3 「「鎌倉府」の盛衰を左右した幕府・鎌倉公方の対立」(久水俊和編『「室町殿」の時代ー安定期室町幕府研究の最前線ー』山川出版社) R4 「上杉四家の関東支配をめぐる争乱」(渡邊大門編『争いだらけの室町時代』柏書房) R5 「享禄の高基・晴氏抗争」「河越合戦と足利晴氏」(黒田基樹編著『足利高基・晴氏』戎光祥出版)</p> <p>④今年度の取り組み・抱負・メッセージ 文書館4年目です。埼玉県の魅力を発信できるようにがんばります。</p> <p>⑤その他 趣味は昆虫を中心に自然に触れること。</p>


<p>関口 真規子 せきぐち まきこ</p>	<p>日本中世史</p>	<p>①経歴・職歴 埼玉県立文書館(公文書担当を経て古文書担当)、埼玉県立歴史と民俗の博物館(展示担当)、埼玉県立文書館(公文書担当を経て古文書担当)を経て文化資源課博物館・美術館担当。埼玉県教育局市町村支援部文化資源課を経て嵐山史跡の博物館(学芸担当)</p> <p>②過去の業務実績 H27 特別展「戦国図鑑」運営(歴史と民俗の博物館) H28 企画展「高麗郡一三百年一物と語りー」(歴史と民俗の博物館) H29 特別展「上杉家の名刀と三十五腰」(歴史と民俗の博物館) H30 企画展「古文書 大公開！」(文書館・歴史と民俗の博物館) H30 歴史講座「紙から知る、古文書」講師(歴史と民俗の博物館) H30 展示「埼玉の人物 飯野喜四郎」(歴史と民俗の博物館) R1 展示「埼玉の“ふみくら”」(文書館) R2 展示「花押と印章×サインとはんこ」(文書館)</p> <p>③研究業績 H27 「当山派」(時枝務・長谷川賢二・林敦編『修験道史入門』、岩田書院) H28 「醍醐寺所蔵「御末寺・修験官職継目控」「武蔵」国項&lt;上&gt;」(『紀要』11号 歴史と民俗の博物館) H29 「醍醐寺所蔵「御末寺・修験官職継目控」「武蔵」国項&lt;下&gt;」(『紀要』12号 歴史と民俗の博物館)ほか R1 近代文書の保存・活用のための修理に関する一試論 ―埼玉県行政文書を中心に―(アーカイブズ研究Ⅲ 修了研究論文) R3 「「義演准后日記」とその紙背文書」(『中世寺院の仏法と社会』永村眞編、勉誠出版、2021)</p> <p>④メッセージ より多くの県民の方に、嵐山史跡の博物館に足を運んでいただけるよう努めます。</p> <p>⑤その他 御朱印を集めています。</p>
	<p>・宗教史 ・古文書学</p>	


<p>根ヶ山 泰史 ねがやま やすふみ</p>	<p>日本中世史</p>	<p>① 経歴・職歴 H23～ 歴史と民俗の博物館学芸員 H25～ 生涯学習文化財課主事、主任 H30～ 歴史と民俗の博物館学芸員、主任学芸員</p>
	<p>鎌倉・南北朝時代の政治と社会</p>	<p>② 過去の主な業務実績 H24 特別展「大名と藩—天下泰平の立役者たち—」運営(歴史と民俗の博物館) H30 企画展「古文書 大公開! —みる・よむ・しらべる埼玉—」運営(歴史と民俗の博物館) H30 特別展「ダムと変わる! 私たちの暮らし」運営(歴史と民俗の博物館) R04 企画展「埼玉武術英名録」運営(歴史と民俗の博物館) ほか</p> <p>③ 主な研究業績等 H23 「鎌倉期における「悪党」の語義変化」史林第94巻2号 史学研究会 H25 「近現代公印制度の成立史—埼玉県印を主な事例として—」埼玉地方史第68号 埼玉県地方史研究会 H27 「丹党中村氏・大河原氏西遷の基礎的考察」紀要第10号 歴史と民俗の博物館 H30 「丹党岩田氏に関する新出史料」(共著)文書館紀要第32号 埼玉県立文書館 R02 「成田家資料」の紹介」紀要第15号 歴史と民俗の博物館 R05 『日本史のなかの埼玉県』(共著) 山川出版社 「法養寺薬師堂内墨書の調査報告」紀要17号 歴史と民俗の博物館 ほか</p> <p>④ メッセージ 令和5年度は特別展「鉢形城主 北条氏邦」準備のほか、博物館改修工事の展示関係業務などを担当します。</p> <p>⑤ その他 目下育児に奮闘中。趣味は旅行、武道、博物館・史跡めぐりです。</p>

<p>森内 優子 もりうち ゆうこ</p>	<p>日本中世史</p>	<p>① 経歴・職歴 県立博物館・県立歴史資料館・県立文書館、生涯学習文化財課を経て、現在、文化資源課勤務。</p>
	<p>鎌倉～南北朝時代の政治史・社会史</p>	<p>② 過去の実績 H11 特別展「ゆ ～お風呂の文化史～」企画・運営・図録執筆（県立博物館） H17 資料紹介展示「親子で学ぶ 埼玉近現代の災害 ～被害のようすと県のはたらき～」(県立文書館) H19 収蔵文書目録「坂本家文書目録」編集（県立文書館） H27 重要文化財公開展「SAITAMA食べものヒストリー」(県立文書館) H28 重要文化財公開展「埼玉県庁舎ものがたり 一文書と写真でたどる145年のあゆみー」(県立文書館)</p> <p>③ 著作・研究実績等 H15「畠山国清の乱における安保泰規の動向について」(武蔵野第79巻第2号) H16「東国内乱期における安保氏の立場についてー常陸国下妻荘小嶋郷の宛行と還補をめぐるー」(文書館紀要第18号) H19「熊谷直実の出家に関する一考察 一問注所の移転をめぐるー」(文書館紀要第21号) H29「収蔵資料にみる埼玉県庁舎の歴史 ー重要文化財公開展の開催をととしてー」(文書館紀要第31号)</p> <p>④ メッセージ 現在は、県庁の文化資源課で文化財保護・活用と県立博物館・美術館施設の連絡調整業務を担当しています。博物館法が70年ぶりに改正されました。資料や文化財の新しい発信の仕方など、地域や博物館の皆様と一緒に工夫していきたいと思います。文化資源課のツイッターやフェイスブックも、ぜひ、ご覧ください！</p>

<p>青木 裕美 あおき ひろみ</p>	<p>専門分野</p>	<p>① 経歴・職歴 令和4年度 新規採用、埼玉県立文書館公文書担当。</p> <p>② 過去の実績(調査・展覧会運営・講演会等)</p>
	<p>・中近世移行期の地域社会 ・文書の伝来 ・絵図</p>	<p>【展覧会】 平成29年度 「織田信長と上野国」(群馬県立歴史博物館) 主担当 平成30年度 「綺羅美耀2」(群馬県立歴史博物館) 主担当 令和元年度 「空からグンマを見てみようー国絵図・城絵図・町村絵図ー」(群馬県立歴史博物館) 主担当</p> <p>【講演会等】 令和3年度 「長尾頭長とその時代」 (足利市立美術館、足利市制100周年記念特別展「戦国武将 足利長尾の武と美」記念講演会)</p> <p>③ 著作・研究業績等</p> <p>【研究論文等】 「富岡文書の伝来について」(『群馬文化』第294号、平成20年) 「寛文上野国絵図の基礎的考察ー前橋市立図書館所蔵『上野国絵図』をめぐってー」(『双文』vol.33、平成28年) 「八木家文書とその伝来について」(『群馬県立歴史博物館紀要』第39号、平成29年) 「下川文書とその伝来についてー楯取素彦と加藤清正関係文書を中心にー」 (『群馬県立歴史博物館紀要』第40号、令和元年) 「織田政権と上野国」(江田郁夫・築瀬大輔編『中世の北関東と京都』、高志書院、令和2年) 「史料紹介 就御絵図之儀諸事覚帳(大日方家文書)」(『群馬県立歴史博物館』第42号、令和3年) 「長尾頭長とその時代」(足利市立美術館、「戦国武将 足利長尾の武と美」展示図録、令和3年)</p> <p>【著作(共著)】 『戦国史ー上州の150年戦争ー』(上毛新聞社、平成24年) 『ぐんまの城30選ー戦国への誘いー』(上毛新聞社、平成28年) 『戦国人ー上州の150傑ー』(上毛新聞社、令和3年) 『群馬の歴史資料を未来へーぐんま史料ネット事始めー』(群馬歴史資料ネットワーク編、令和3年)</p> <p>【自治体史】 館林市史資料編第2巻中世『佐貫荘と戦国の館林』(館林市、平成19年) 館林市史特別編第4巻『館林城と中近世の遺跡』(館林市、平成22年) 館林市史通史編第1巻『館林の原始・古代・中世』(館林市、平成27年)</p> <p>④ 今年度の取組・抱負・メッセージ 戦国時代末期から江戸時代初期の地域社会、古文書の伝来や絵図の研究をしています。 初めての公文書担当ですが、できることをしっかりと行い、歴史的に貴重な資料を次世代に伝えていきたいと思っております。</p>



大橋 毅頭	日本近世史	① 経歴・職歴 文書館、文化資源課を経て、文書館勤務
おおはし たけあき		② 過去の業務実績 H27 特集展示「古文書にみる女性」(平成27年11月～平成28年2月) H27 第5回ミュージアムフォーラム「火」-「台所は火の車-近世大名の財政事情-」(平成28年1月30日) H27 収蔵文書目録第55集『飯塚家文書目録』編集 H28 「新公開 飯塚家文書展-深谷と歩む-」(平成28年6月～10月) H30 人物展「本庄宿の豪商 戸谷半兵衛」(平成30年4月24日～7月22日) H30 企画展「古文書 大公開！-みる・よむ・しらべる埼玉-」(平成30年7月14日～9月2日) R1 『埼玉県指定文化財調査報告書』第28集編集 R3 企画展「埼玉の黎明-渋沢栄一が目指した社会-」(令和3年9月28日～11月28日) R3 収蔵文書目録第60集『古沢家文書目録(2)』編集 ③ 研究業績等 H26 「忍藩阿部家の江戸屋敷」(『文書館紀要』第28号) H27 「大名と御用商人-三井家の大名金融-」(『さいたまの教育と文化』第75号) H27 「将軍綱吉の阿部邸御成り」(『文書館紀要』第29号) H28 「本庄宿戸谷家の柳河藩立花家への大名貸」(『文書館紀要』第30号) H29 「展示批評 埼玉県立歴史と民俗の博物館特別展「徳川家康-語り継がれる天下人」を見て-」(『地方史研究』第386号) H29 「本庄宿戸谷家の小城藩鍋島家への大名貸」(『文書館紀要』第31号) H29 「忍城主阿部家の江戸藩邸と将軍御成り」(『行田市郷土博物館研究報告』第9集) H29 「文書調査員制度の成果と課題」(埼玉協第8次専門研報告書『自治体史編さん以降の地域史料管理』) H29 「民間所在文書の散逸とその対策」(『アーカイブズ研修Ⅲ修了研究論文』平成29年度) H30 「平成30年度企画展「古文書 大公開！-みる・よむ・しらべる埼玉-」展示報告」(『埼玉県立歴史と民俗の博物館紀要』第13号)、分担執筆 H30 「元禄期の経済政策と幕府為替御用」(『文書館紀要』第32号) R1 「第298回定例研究会「沖縄大会を振り返って」-第44回全史料協全国(沖縄)大会参加報告会-」(『アーキビスト』第92号) R1 「本庄宿戸谷家の富山藩・七日市藩前田家への大名貸」(『文書館紀要』第33号) R2 「中山信吉の事績と文化財」(『埼玉県立歴史と民俗の博物館紀要』第15号) R3 企画展図録「埼玉の黎明-渋沢栄一が目指した社会-」(埼玉県立文書館) R3 「渋沢栄一の関東人撰御用」(『文書館紀要』第35号) ④ メッセージ 忍藩阿部家や川越藩柳沢家に興味があります。 ⑤ その他 JCA2020036 認証アーキビスト
	近世御用商人の領主金融	

<p>加藤 光男 かとう みつお</p>	<p>日本近世史</p>	<p>① 経歴・職歴 県立博物館(歴史と民俗の博物館)・歴史資料館(嵐山史跡の博物館)・文書館などを経て、現在、文学館勤務</p> <p>② 過去の業務実績 a) 展覧会: H4 鯰絵・H9 埼玉の札所めぐり(県立博物館)、H15 川の関所と船橋・H16 なまず・鯰・ナマズ大集合!(川の博物館)、H18 武者小路実篤と新しき村・靴が鳴る♪(文学館)、H23「鎌倉街道」をゆく(嵐山史跡の博物館)、H26江戸の街道(歴史と民俗の博物館)、H28戦国を生き抜いた武将たち・H30越山—上杉謙信侵攻と関東の城—・R2境目の城(嵐山史跡の博物館)、R3旅する文学・R4金田一耕助さん! 埼玉で事件ですよ(さいたま文学館)など b) 報告書等: H12「古道を歩く —鎌倉街道歴史探訪—」(歴史資料館)・H27「鯰絵」(歴史と民俗の博物館)など</p> <p>③ 著作・研究実績等 H5「鯰絵に関する基礎的考察」(県立博物館『紀要』18号) H7「鯰絵総目録 写真・翻刻・解説」(宮田登・高田衛監修『鯰絵 震災と日本文化』) H11「歴史をあるく『新編武蔵風土記稿』の世界(一) 比企郡嵐山町」(歴史資料館『研究紀要』21号) H12「浮世絵を読み直す 江戸っ子のマスメディア」(歴史資料館『研究紀要』22号) H12「翻刻 広重・豊国・国貞画 観音霊験記」(速見侑監修『観音信仰辞典』) H14「文久2年の麻疹流行に伴う麻疹絵の出版とその位置づけ」(『文書館紀要』15号) H14「天保期以降の出版メディアの特質とその流通」(『関東近世史研究』51号) H16「房川渡中田関所に関する基礎的考察」(川の博物館『紀要』4号) H16(共著)『江戸の文学から浮世絵・錦絵まで 原点で楽しむ江戸の世界』 H18 Caricatures of the post-earthquake society as soon in Namazu-e(ウィーン大学における国際シンポジウム) H27 内藤新宿の信仰～江戸末期の錦絵にみる太宗寺の閻魔と正受院の奪衣婆～(新宿区立四谷図書館) H28「鯰絵「瓢箪鯰」の系譜」(秋篠宮文仁監修『ナマズの博物誌』) H30 ナマズ シンポジウム(埼玉県吉川市) H30 浮世絵版画で語られた忠臣蔵(大東文化大学) R1 埼玉の札所: 秩父三十四ヶ所 ～坂東札所との比較検討の視点から～(大東文化大学) R2 天声人語(『朝日新聞』令和3年2月5日 朝刊) R2「菅谷館・菅谷城理解のために —文献史学の視点からの再検討—」(『県立史跡の博物館紀要』14号) R3 浮世絵にみる幕末の疫病と埼玉 —今日のコロナ感染状況対応と比較して—(行田市郷土博物館) R3「埼玉県域に関する十返舎一九の滑稽道中記『金草鞋』についての基礎的考察」(『さいたま文学館紀要』第2号) R4 埼玉ゆかりの文学 三島由紀夫・澁澤龍彦(さいたま文学館) R4 ミステリー文学における横溝正史の位置づけ(埼玉県立久喜図書館) R4「金田一耕助さん! 埼玉で事件ですよ」(『朝日新聞』令和3年2月5日)</p>
 <p>鯰絵、寛政の改革から日露戦争終結までにおける諷刺画のマスメディアとしての役割、三富新田の開発、江戸時代の関所、近世村落における課題解決の作法、推理小説から読み解く戦後の日本、先人が夢見た日本の未来(三島由紀夫とEXPO'70)</p>		


R4「金田一さん！信州で事件ですよ」(『週刊新潮』通巻3371号)


R4「横溝正史原作・金田一耕助を検証する」(『さいたま文学館紀要』第3号)等


④ 今年度の取り組み・メッセージ

※取り組み:企画展「(仮称)澁澤龍彦展」[会期:令和5年10月7日～12月3日]を担当。


※メッセージ:2023年はリラックマ誕生20周年。リラックマを学芸員の視点で研究・収集しています。ミッフィー展・ピーターラビット展のような展覧会の企画があれば協力いたします。

黒田 千尋	日本近世史	① 経歴・職歴 R3～歴史と民俗の博物館 学習支援担当 R5～同館 展示担当
くろだ ちひろ	宗教史 葬送儀礼	② 過去の実績 R3 県政出前講座「埼玉県域における江戸時代のくらしと文化ー岩槻区域を中心にー」 R4 県政出前講座「徳川家康と埼玉県」  ③ 著作・研究実績等 H29「寺院アーカイブズの活用と地域社会」(『淑徳大学長谷川仏教文化研究所年報』42号)  ④ 今年度の取り組み・抱負・メッセージ 今年度から展示担当になりました。学習支援担当で学んだことを展示にも活かしたいです。親しみやすく楽しい展示を心がけてまいります。  ⑤ その他 旅行、寺社めぐり、博物館・美術館めぐり、猫、読書、食べることが好きです。
		


木暮 咲樹	日本近世史	① 経歴・職歴 R3.4～ 埼玉県立文書館 古文書担当
こぐれ さき		② 過去の業務実績 R1 文書館企画展「生活に役立つ地図—マイホーム・防災・子育て・レジャーにも—」補助（コラム：昔の災害地図・昔の観光地図を担当） R3 文書館埼玉150周年企画展「埼玉の黎明—渋沢栄一が目指した世界—」サブ担当 R4 収蔵文書目録第61集『古沢家文書目録(3)』編集  ③ 著作・研究業績等 R3 「安政期における疫病除けの様子—林家文書の祈禱記録から—」（『文書館紀要』第35号）  ④ メッセージ 古文書の受入、公開に向けての整理、展示などを担当します。自身の知見を深めるとともに、文書館の資料を通じて多くの方に埼玉県歴史や文化の魅力や面白さを知っていただけるよう努めます。  ⑤ その他 寺社巡りが趣味です。県内のまだ訪れたことのない寺社へ順に足を運んでいきたいと思っています。
	近世の庶民の旅、文化、信仰	


高田 智仁	日本近世史	①経歴・職歴 埼玉県立文書館古文書担当を経て、令和2年度から文化資源課文化財活用・博物館担当
たかだ ともひと		②過去の業務実績 H29 文書館収蔵文書展「関東管領上杉氏と埼玉の戦国武将」補助 H29 第7回 学芸員合同研究発表会ミュージアムフォーラム「春秋庵の門流と水荃の跡」発表 H30 企画展「古文書大公開！-みる・よむ・しらべる埼玉-」補助 H30 OKEGAWAhonプラス+連続講座 埼玉の川を知る「流れを変えた大河・利根川～遷された流路とその周辺～」講師 R01 新・岡部公民館開館記念歴史講座「岡部落主安部家とその周縁」講師 R01 収蔵古文書目録第58集『諸家文書目録X』編さん
	近世書跡文化史	③研究業績等 H29 (口頭発表) 第118回「書物・出版と社会変容」研究会「所用印を起点にみる岡部落主安部家の文事」 H29 (口頭発表) 平成29年度埼玉県地域研究発表会「岡部落主安部家と海外 ―文化的側面を中心に―」 H30 (共著) 「平成30年度企画展 古文書大公開！-みる・よむ・しらべる埼玉-展示報告」(『紀要』第13号、歴史と民俗の博物館) R01 (単著)「文書館資料にみる岡部落主安部家の文化交流の一断面―長島藩・空々琴社との交流―」(『文書館紀要』第33号) R02 (共著)「表装が伝えるもの―後水尾院縁の掛軸を事例として」(『日本の表装と修理』、勉誠出版) R02 (単著)「岡部落主安部家と異国文化を巡って」(『文書館紀要』第34号) R04 (単著)「岡部落家老菊池家と菊池武昭について―「藩中家譜」の事績書上げに着目して―」(『文書館紀要』第36号) ④メッセージ 現職4年目となりました。引き続き県立博物館等の防災など文化財の災害対策に携わります。また、色々な形で埼玉県に遺る文化財の魅力を発信していきたいと、今年は積極的に外に出ていきたいと思っています！ 春の夜に 数へて詮なし 空の瓶


<p>中村 陽平 なかむら ようへい</p>	<p>日本近世史</p>	<p>① 経歴・職歴 H27～歴史と民俗の博物館(展示担当)、R3～嵐山史跡の博物館(学芸担当)、R5～文化資源課(指定文化財担当)</p>
	<p>藩領の地方支配</p>	<p>②過去の業務実績(展覧会・図録執筆を含む) H28 特別展「徳川家康」 H29 特別展「明治天皇と氷川神社」 H30 企画展「古文書 大公開!」 H31 企画展「北沢楽天と時事漫画」 R1 特別展「武蔵国の旗本」 R4 企画展「武蔵武士と源氏」</p> <p>③研究業績等</p> <p>◆論文・研究ノートなど(直近・主なもの) H29 「御朱印地配分からみる近世鎌倉寺社領の成立と構造」(中野達哉編『鎌倉寺社の近世』岩田書院) H29 「中山道板橋宿における伝馬役負担と宿開発」(『駒沢史学』89号 駒沢史学会) R3 「小藩陣屋支配における陣屋手代と「雇」役人」(『駒沢史学』95号 駒沢史学会) R3 「旗本を展示する」(『関東近世史研究』89号、関東近世史研究会) R3 「旗本菩提所の「成立」と護持—旗本水野家菩提所昌国寺を事例に—」(『埼玉地方史』83号、埼玉県地方史研究会)</p> <p>◆資料紹介・展示報告など(直近・主なもの) R2 「大木戸はあったのか—地域の歴史を読み直す—」(地方史研究協議会編『日本の歴史を原点から探る』文学通信) R3 「コロナ禍の博物館活動」(『地方史研究』412号、地方史研究協議会) R4 「正法寺所蔵旗本水野忠貞奉納明版大蔵経について」(『埼玉県立史跡の博物館紀要』15号) R5 「茂田井石川家に伝わる由緒書の謎」(『葦のみち』33号、三郷市教育委員会)</p> <p>◆口頭発表・講座など(直近のもの) R3 「旗本を展示する」(関東近世史研究会シンポジウム「旗本研究のこれまでとこれから」) R4 「昌国寺と旗本水野家」(鉢形城歴史館 令和4年春季企画展「昌国寺」歴史講座)</p>


井上 かおり	日本近代史	<p>① 経歴・職歴 歴史資料館、民俗文化センター、県文化財保護課、歴史と民俗の博物館、県文化資源課、県平和資料館を経て、令和5年度から文書館に勤務。</p>
いのうえ かおり		<p>② 過去の業務実績 H21「いただきます～食の文化史～」展運営(歴史と民俗の博物館) H27「小室家文書展－在村医のまなざし－」展運営(文書館) R3「埼玉再建！－『埼玉メガホン』と復興の時代－」展運営(平和資料館) R4 東松山市きらめき市民大学講座「東松山市の近代」講師 R4「戦争と学校－子供たちのたたかい－」展運営(平和資料館)</p>
	幕末維新史、特に近代日本が成立するまでの過程など	<p>③ 研究業績等 H15『『評議録』に見る創業期の日本煉瓦製造株式会社』研究紀要第17号(文書館) H21『名栗の歴史(下)近代・現代』(共著)(飯能市郷土館) H29『『暴徒一件書類－埼玉県入間・高麗郡役所－』について』研究紀要第12号(歴史と民俗の博物館) H30『近現代展示室の現状と課題－リニューアル10年目の検証にかえて－』研究紀要第13号(歴史と民俗の博物館) R4『日本史のなかの埼玉県』(共著)(山川出版社)</p> <p>④ メッセージ 今年度、8年ぶりに文書館勤務となりました。文書館・博物館や資料を取り巻く環境と価値観が想定外のスピードで変わっていくことに戸惑いつつも、本当に大切なものは何なのかを見失わないように、と自分を戒めています。</p> <p>⑤ その他 コロナが収束に向かう兆しを見せているなかで、趣味(実益)の史跡めぐりを再開し始めています。</p>



<p>木村 遼之 きむら りょうじ</p>	<p>日本近現代史</p>	<p>①経歴 H28～埼玉県立文書館古文書担当、H31～同館公文書担当 R4～歴史と民俗の博物館企画担当</p>
	<p>近代日本の文化財 保護</p>	<p>②過去の業務実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H28 収蔵古文書目録第56集『黒田(小)家文書・諸家文書区目録』編集</li> <li>・H29 文書館コーナー展「新公開 黒田(小)家文書・諸家文書」</li> <li>・H29 講演「黒田家と熊谷」</li> <li>・H29 いきがい大学川越 歴史・郷土を学ぶ科 講師「埼玉県の文化財と世界遺産」</li> <li>・H29 明治150周年記念県製作映画『埼玉の明治維新』製作協力</li> <li>・H30 講演「埼玉の明治維新」</li> <li>・H30 歴史と民俗の博物館人物展「文明開化の先駆者 清水卯三郎」</li> <li>・H30 収蔵古文書目録第57集『青木家文書目録』編集</li> <li>・R1 文書館企画展「熊谷の記録と文化」</li> <li>・R1 アーカイブズカレッジ「埼玉県立文書館における構造把握の実践」講師</li> <li>・R3 文書館企画展「埼玉スポーツものがたり」</li> <li>・R4 講演「秩父事件とは何か」</li> <li>・R4 歴史と民俗の博物館特集展示「新編武蔵風土記稿と文化財」 など</li> </ul> <p>③メッセージ</p> <p>文書館では資料保存、整理や展示のほか、公文書の管理やシステムなども経験させていただきました。 博物館では、大宮公園を中心とした地域連携に取り組めます。</p>

<p>鈴木 一史</p> <p>すずき かずふみ</p>	<p>日本近現代史</p>	<p>①経歴・職歴</p> <p>R02～ 県立歴史と民俗の博物館 学習支援担当</p> <p>R03～ 県立歴史と民俗の博物館 資料調査・活用担当</p>
	<p>アジア太平洋戦争 期の大衆文化</p>	<p>②過去の実績(調査・展覧会運営・講演会等)</p> <p>H21 特別展「大田黒元雄の足跡 西洋音楽への水先案内人」(杉並区立郷土博物館)</p> <p>H25 特別展「辻村伊助 アルプスに挑んだ小田原の登山家」(小田原文学館)</p> <p>H29 特別展「小田原城址の150年 モダン・オダワラ・キャッスル1868-2017」(小田原城天守閣)</p> <p>H30 特別企画展「昭和館で学ぶ『この世界の片隅に』」(昭和館)</p> <p>R02 企画展「新収集品展2018・2019」(県立歴史と民俗の博物館、一部展示資料選定・解説分担執筆)</p> <p>R02 講演「街道と旅 埼玉と鉄道の近現代史」(埼玉未来大学 ライフデザイン科)</p> <p>R03 開館50周年記念事業展示「博物館のあゆみ」(県立歴史と民俗の博物館、年表作成・写真選定)</p> <p>R04 「新収集品展2020・2021」(県立歴史と民俗の博物館)</p> <p>③著作・研究実績・現在、取り組んでいる研究など</p> <p>H25 「戦争の記憶継承と博物館 明治大学平和教育登戸研究所資料館をめぐる研究動向から」(『人民の歴史学』195)</p> <p>H28 「MLA連携における学芸員の役割 小田原市立図書館での実務経験から」(『記録と史料』26)</p> <p>H28 「2016年度歴史学研究会大会報告批判 近代史部会」(『歴史学研究』952)</p> <p>H30 「戦争を描けなかった紙芝居—戦時下の教育紙芝居をめぐる議論から」(『国策紙芝居からみる日本の戦争』)</p> <p>R03 「翼賛文化運動の戦中と戦後—加藤芳雄旧蔵埼玉県翼賛文化連盟関係資料から—」(『埼玉県立歴史と民俗の博物館紀要』15)</p> <p>R04 「紙芝居からみる戦時下の社会意識—埼玉県平和資料館所蔵作品から—」(『埼玉県立歴史と民俗の博物館紀要』16)</p> <p>R05 「序論 時代考証にとって現実とはなにか」(『明治・大正・昭和の時代劇メディアと時代考証』)</p> <p>R05 「『川口市戦時下生活関係資料』について」(『埼玉県立歴史と民俗の博物館紀要』17)</p> <p>R05 「インタビューからみる「風布の回り念仏」(秩父郡長瀨町)」(『巡り・廻りの民俗行事調査概報V』)</p> <p>④今年度の取り組み・抱負・メッセージ</p> <p>昨年度にひきつづき、寄贈・寄託資料の手続きや収蔵資料データベースの管理、無形民俗文化財調査の事務局を担当するとともに、新たに資料評価会議の運営、古美術作品・民俗資料の管理などを担当します。埼玉の歴史や文化を考える素材となる資料を将来へ受け継ぎ、その魅力を発信するための基礎固めができるよう努めます。</p> <p>また、埼玉の近現代史にかかわる資料についての知見をさらに深めていきたいと考えています。</p>

小松和史	専門	① 経歴・職歴 R5.4～ 埼玉県立歴史と民俗の博物館
こまつたかふみ	商品流通史 (江戸と江戸周辺 の 春米商)	② 過去の実績(調査・展覧会運営・講演会等) なし  ③ 研究実績等 なし  ④ 今年度の取り組み・抱負・メッセージ 今年度から学習支援を担当します。初めてのことも多く慣れない点もあると思いますが、皆さんに歴史や文化に触れる楽しさをお届けできるように頑張ります。
		

<p>田口 志織 たぐち しおり</p>	<p>日本近世史</p>	<p>① 経歴・職歴 令和5年より、埼玉県立歴史と民俗の博物館(資料調査・活用担当)</p> <p>② 今年度の取り組み・抱負・メッセージ</p>
	<p>近世湯治の研究</p>	<p>刊行物に関する業務や、資料の熟覧・画像利用の手続等を担当しています。博物館の多彩な資料を皆様が利用しやすいよう努めてまいります。</p>